

平成30年4月16日

保護者 様

熊本大学教育学部附属中学校
校長 黨 武彦

自然災害時における生徒の登下校の対応について

春暖の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、自然災害が発生した場合、生徒の通学範囲が広域にわたること、多くの生徒が公共交通機関を利用していることを考慮したうえで、生徒の安全確保を第一に優先した対応が必要になります。

つきましては、自然災害時における生徒の登下校について、下記のとおり対応いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、通常以外の対応を取る場合は、**緊急連絡システム（ひびきあいメール）**を使って**全家庭に連絡**します。

記

次の場合のうち、**生徒の登下校について対応が必要と判断された場合**

★ 熊本地方（熊本市・荒尾玉名・山鹿菊池・上益城・宇城八代）に暴風警報、大雨警報または洪水警報が出された場合、地震による被害が発生した場合等

1 登校前の対応

A 通常どおりの登校・授業実施

★ 自宅待機（B～C）

B 遅延登校

C 臨時休校

通常どおりに登校・授業実施が可能（交通機関が通常に近い状態で運行）

※午前6時に判断・連絡

A

通常どおりに登校・授業実施ができかねる ※午前6時に判断・連絡

→ 午前11時までに状況の改善が見られ、通常どおりに登校・授業実施が可能 ※状況に応じて随時判断・連絡

B

→ 午前11時を過ぎても状況の改善が見られない ※午前11時に判断・連絡

C

※ ただし、上記に関わらず、次の場合は、登校を見合わせるなど保護者で判断ください。

- 道路の冠水、河川の増水等により登校に危険と判断される場合
- 公共交通機関の遮断や極端な遅れがある場合

※ その場合は、必ず状況を学校へ連絡ください。

※ 安全に登校できると判断された場合には、すみやかに登校させてください。

※ 自然災害の影響による欠席・登校の遅れは取り扱いを配慮します。

2 登校後の対応

A 通常どおりの授業実施・下校 ★ 授業・部活動を中止（B～D） B すみやかに下校 C 学校待機、安全を確認（台風通過等）後に下校 D 学校待機、保護者による引き取り下校	
通常どおりに授業実施・下校が可能（交通機関が通常に近い状態で運行）	A
状況の悪化が予測され、通常どおりに授業実施・下校ができかねる ※状況に応じて随時判断・連絡	
安全に下校できる	B
通学路の通行が危険と認められるとき、気象状況・通学距離等により帰宅が困難と認められる ※状況に応じて随時判断・連絡	C D
※ C、D の場合、災害の状況・関係機関の対応等について情報収集し、安全が十分に確保できる場合、下校時間及び迎え（引き取り下校）の時間を保護者にお知らせします。 ※ 状況に応じて、無事帰着したことを電話等で連絡していただきます。	

3 土・日・休業日の部活動等実施日の対応

A 原則として部活動等は中止
※ 活動開始前に警報が出される等の状況となった場合、担当者からの連絡に関わらず、危険が予想される時は、登校や参加を見合わせるなど、保護者で判断をされて、担当者に連絡してください。
※ 活動開始後に警報が出される等の状況となった場合、状況を見ながら上記 2 に準じて、早めに下校させたり、保護者に迎え（引き取り下校）をお願いしたりする場合があります。

4 その他

- (1) 上記の対応は、あくまで原則的なものです。状況によっては、これ以外の緊急な対応が必要になることが考えられますので、ご理解願います。
- (2) ご家庭から学校への問い合わせの電話は、できるだけご遠慮願います。
- (3) 非常災害時の避難場所や連絡方法などについて、日頃からご家族で十分話し合っておいてください。
- (4) 大雨・強風などの日は、視界が狭くなることによる交通事故など、副次的な事故も発生しやすくなります。危険予知や危険回避について、ご家庭でもご指導をお願いします。